

冬は寒く潮風が強い山陰地方。耐久性に優れる石州瓦は自然に広まり赤茶色の町並みが生まれた。島根県江津市



島根県江津市渡子の町並み

島根県・「石州瓦」の家

探訪
～水のある風景

潮風から町並み守る赤瓦

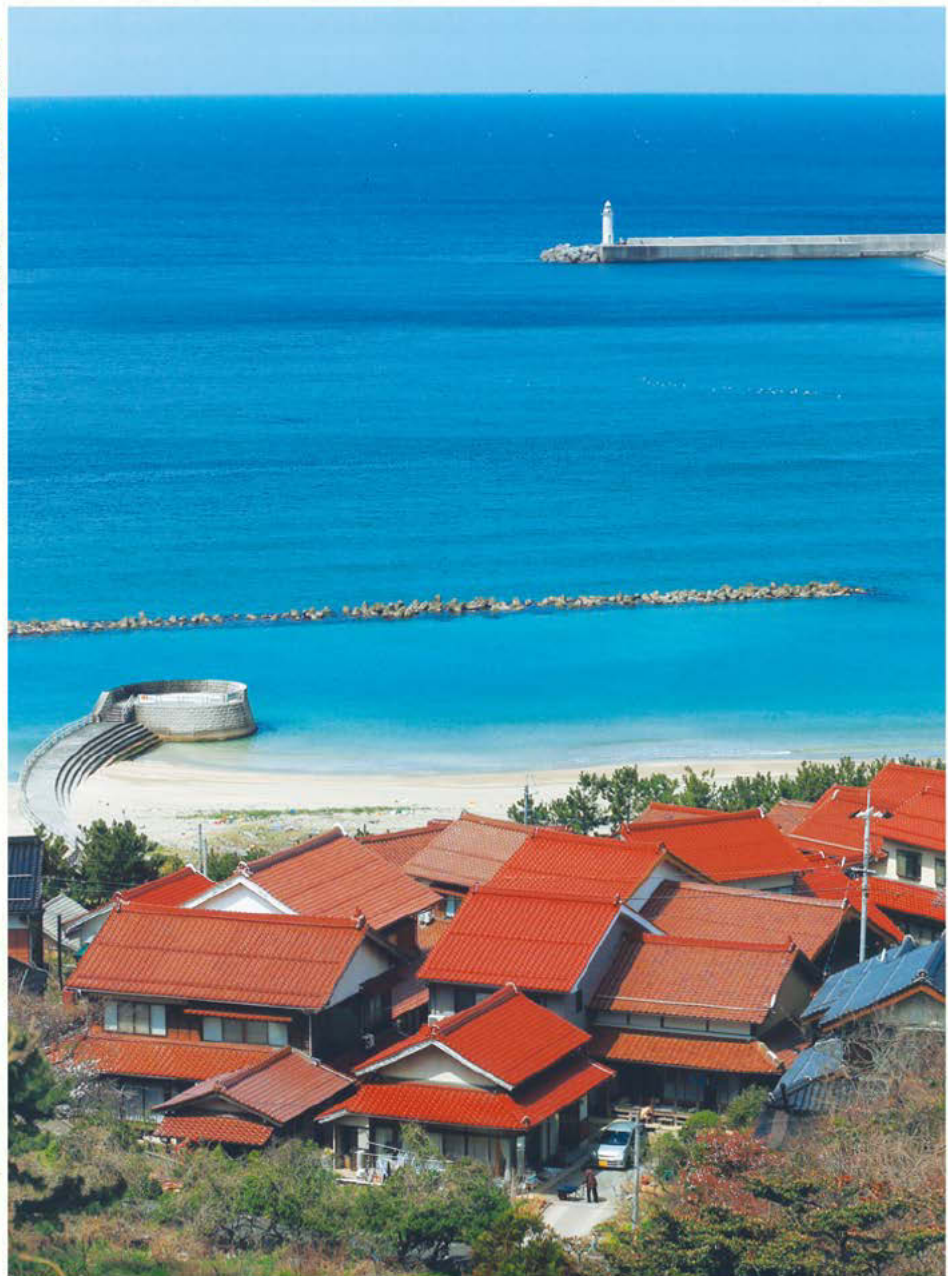
青々とした海を背に広がる赤茶色の瓦屋根。晴れ日には太陽光と空の青さが加わり一層、コントラストを増す。島根県の日本海沿いで見られる「石州瓦」の家並みだ。

方にあたる出雲を中心に生産される赤瓦は、日本三瓦のひと。始まりは江戸時代初期といわれ、今では年間約500万枚の生産量を誇っている。出雲出雲地方で採掘される赤瓦の原石と、寒冷地ならではの色合いを生む。地元は親しまれて、赤瓦（一町瓦）もいる。寒や被害に強く割れにくいという耐久性も大きな特徴。一般的なたと比べ、100、200度以上も高い、約1200度で焼き上げることで強度が生まれるといふ。

（この辺の海はきれいなほど潮風が厳しげな。景観を考慮させて、町並みの中に見える）



掲載写真 お分けします 掲載写真を実費でお分けます。問い合わせは、産経ビジュアル ☎03・3275・8775（午前11時～午後7時）。ホームページは<http://chizai-visual.sankei.co.jp/>



大磯の光を浴びて輝く海と石州瓦の家々。島根県の日本海沿いは美しい町並みが広がっている。島根県江津市

「探訪」の動画は、「産経フォト」photo.sankei.jp、msn.comまたは「YouTube」産経新聞チャンネルでご覧になれます。